

基本施策 F 2 高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます

主管課：高齢者すこやか支援課

個別施策

- F2-1 地域包括ケアシステムの構築を進めます
- F2-2 高齢者の社会参加を促進します
- F2-3 地域の支援体制を構築します
- F2-4 介護サービスの充実を図ります

ア 施策の目的

高齢者が生きがいを持ち、地域で支え合い安心して暮らしている。

イ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	
高齢者ふれあい サロン箇所数	34 箇所 (26 年度)	↑	目標値	53	60	67	74	81
			実績値	48	53	57		
			達成率	90.6%	88.3%	85.1%		
地域包括支援センタ ーの認知度	—%	↑	目標値	34.0%	38.0%	80.0%	83.2%	86.4%
			実績値	73.6%	76.8%	80.3%		
			達成率	216.5%	202.0%	100.4%		

※「地域包括支援センターの認知度」の目標値については、平成 29 年度において、実績値が目標値を大きく上回ったことから上方修正した。実績値の平成 28 年度から平成 29 年度までの伸びが 3.2%であるため、平成 30 年度の目標値は、平成 29 年度の実績値に 3.2%を上乗せした 80%、それ以降は年毎に 3.2%を加えた値とした。

ウ 審議会における施策推進に向けた提案

- 障害福祉サービスを受けている障害者の方は 65 歳になると、介護保険に移行しないといけない制度になっている。サービスが変更されることに順応できない障害者の方や介護保険に移行することでサービスの利用料が払えずサービスが受けられなくなる方もいるため、障害者と高齢者、両方からスムーズにサービスが受けられるようにしていただきたい。
- 高齢者サロンの実施手法として、多くの高齢者に子ども達との交流を取り入れたらよいのではないかと。

エ 次期総合計画の策定に向けた意見

- 急速な高齢化のなかで、いろいろな問題が出てきているが、それに対応できるシステムを作っていく必要がある。